

## 第48回技能五輪全国大会「造園」職種競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。

### 1 競技時間

標準時間	1 1時間30分
打切り時間	1 2時間

### 2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (4) 使用工具等は、各自必要と思われるものを使用してよい。ただし、電動工具の使用はできない。また、あらかじめ印をした用具などは使用を禁止する。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中に観客等と話しをしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点をする。
- (7) 原則としてあらかじめ設定された木枠（3500×5000 mm）の中で作業する。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、保護帽を着用すること。  
なお、保護メガネを必要とする作業においては着用すること。
- (9) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (10) 競技中は携帯電話（メール、時計、電卓の使用を含む）の使用を禁ずる。
- (11) 競技中は課題と図面以外の参照を禁止とする。
- (12) 課題と図面にメモ書きを入れることは禁止とする。
- (13) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

### 3 仕様

国際大会の採点方式に準じて、モジュール採点を行う。競技1日目（10月23日）の作業終了時までに、3-1地均し～3-4石貼り、並びに石貼りの円内にある敷石敷設1枚を完成させる。以上の工程を競技1日目（10月23日）に採点する。

#### 3-1 地均し

客土を使用し、地盤を計画高に施工する。

#### 3-2 木製アルコーブとレンガ積み

木材とレンガ等を使用し、詳細図のとおりに仕上げる。レンガは空積みとする。

#### 3-3 石積み

石材を使用し、図面のように小端積みを行う（こぶ出しをする）。土目地とすること。

#### 3-4 石貼り

石貼り用石材を使用し、図面のような曲線に仕上げる。砂ぎめで、砂目地とする。

#### 3-5 敷石

板石を使用し、図面のように仕上げる。

#### 3-6 小舗石敷き

小舗石を使用し、図面のように仕上げる。

3-7 ウッドフェンス、ベンチ

フェンスは詳細図のとおりに仕上げる。ベンチは当日見本を展示するので、見本のとおりに仕上げる（一部既製品使用）。

3-8 植栽

高中木及び低木を、図面の位置に修景を考慮して土ぎめで植え付ける。  
必要と思われる剪定はしても良い。

3-9 生垣

生垣用の樹木を、図面の位置に植栽すること。刈込み、自然植栽の仕上げも図面のとおりにする。

3-10 草花等の植付け

草花を、指定された場所に修景を考慮し植え付ける。花は当日公表とする。

3-11 芝の植付け

目地なし、目土なしで図面のように施工する。

3-12 地均し・整地

4 支給材料（1組分）

品名	寸法又は規格 (mm)	数量	備考
板石	300×600×60	7枚	御影石(1面ビシャン、他機械切り)
石積み用石材	300×300×70~80	13枚	御影石(1面ノミ切り、他割肌)
	300×450×70~80	10枚	〃
	300×600×70~80	7枚	〃
レンガ	100×210×60	65個	
小舗石	90×90×90	65個	
石貼り用石材	600×700×30	8枚	サンセットピンク
砂岩台石	600×100×100	2本	
アルコーブ用木材	200×80×1800	4本	
アルコーブ用ビス	φ4.5×90	12本	
	φ4.2×75	8本	
フェンス用木材	90×15×3600	2.5枚	
	50×21×1800	2枚	
	75×75×1000	2本	
フェンス用ビス	φ3.3×30	52本	
	φ3.8×50	4本	
ベンチ用木材	38×89×1820	5本	
ベンチ脚・肘掛キット		2個	
ベンチ用ビス	30	40個	
川砂		3袋	目地用
ヒメシャラ	H=3000	1本	
ソヨゴ	H=2500	1本	
コニファー	H=1800 H=1500 H=1200	各1本	
ボックスウッド	H=800	30本	
季節の草花	現地で調達できる物	70ポット	カラーリーフ含む
コウライ芝	切芝	8㎡	
タマリユウ		10ポット	
飾り鉢	φ450 程度	1個	

## 5 持参工具

- (1) 必要と思われる工具は持参しても良いが、手作業で行うことを原則とするため電源（発電機も含む）を必要とする電動工具や油圧を使う工具については使用出来ない。  
ただし、フェンス並びにベンチ施工のビス止めに使用する充電式インパクトドリルについては持参可とする。
- (2) 工具の大きさについては特に指定はないが、通常使用している標準的な工具とする。
- (3) 充電式ドリルの刃を交換してサンダーのように使用することはできない。

## 6 その他の注意事項

- (1) 石材を加工する作業の際は、必ず保護めがねを着用し、他の選手又は見学者の迷惑にならぬよう配慮すること。
- (2) ベニヤ板を2枚支給するので自由に使用して良い。
- (3) 材料については都合により直前に変更することもある。
- (4) 印刷方法等で課題図面の縮尺に誤差が発生した場合は、表示寸法を優先にすること。